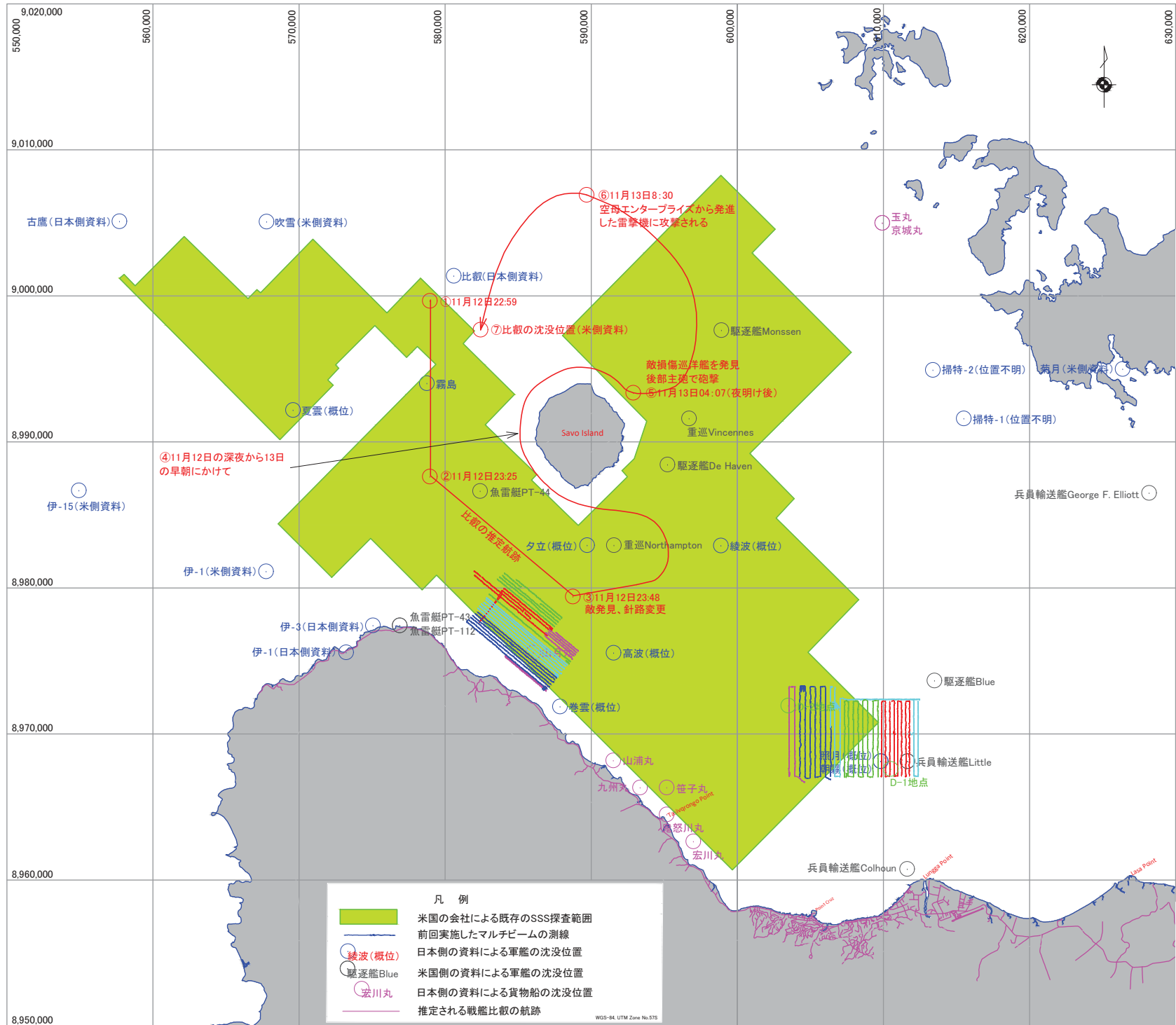


既存資料から推定される第三次ソロモン海戦における日本海軍戦艦比叡の航跡と沈没位置(昭和17年11月12日~13日)



出典と参考文献

1. 第三次ソロモン海戦における戦艦比叡の航跡の推定

第三次ソロモン海戦における戦艦比叡の航路の推定は以下の資料による。

- 1) 戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで
- 2) IJN Battleship Hiei: Tabular Record of Movement
2000-2016 Bub Hackett, Sander Kingsepp and Lars Ahlberg
Revision 18
- 3) ウィキペディア 比叡 (戦艦)

第 11 戦隊の戦闘行動計画

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (359 ページ)

第 11 戦隊司令部は 1700、今後の行動計画を次のとおり麾下部隊に通知した。

針路 225 度速力 26 節ニテ 2200 頃「サボ」島ノ 312 度 7.5 浬ニ達シ速力 18 節トナシ、2200 ヨリ 180 度 6.5 浬、2220 ヨリ 130 度 11.5 浬、2300 ヨリ 80 度 13 浬、2345 反転 260 度 12 浬、0030 ヨリ 28 節 0 度ニ変針退避ス、此ノ間 2310 ヨリ 2340 迄、2350 ヨリ 0030 迄射撃

位置①

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (361 ページ)

挺身攻撃本隊は 2259 針路を 180 度とした。

位置②

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (361 ページ)

主隊はエスペランス岬の灯火を確認、140 度に変針し、2325 射撃速力とした。

位置③

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (365 ページ)

敵発見と同時に、挺身攻撃隊指揮官は直ちに第 11 戦隊あてに射撃目標の転換を下令し、2348、進路を 80 度に変えた。

射撃速度と時間から変針位置を推定した。

位置④

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (372 ページ)

「比叡」は舵故障の復旧に努めたが、成功せず、サボ島を右に見ながら同島の距岸約 1,000 米を回頭しつつ退避に努めていた。舵は面舵一杯に固定してしまっていて動かず、

ウィキペディア 比叡 (戦艦)

舵復旧作業とアメリカ軍の攻撃

午前 3 時 30 分、艦橋付近の火災は鎮火に向かい、機関室は無事であったため、右舷スクリューと左舷スクリューを反対に回して北西に進路をとろうとし、これで 3 ノットほどで直進できるようになった。

位置⑤

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (372 ページ)

夜明け後、サボ島の北東約 1.5 浬の地点でルンガ方面に敵損傷巡洋艦 (ホノルル型) がル

ンガ方向 24 軒に停止中であることを認め、後部主砲群で数斉射撃し、

ウィキペディア 比叡 (戦艦)

舵復旧作業とアメリカ軍の攻撃

午前 4 時 7 分、比叡はルンガ方面距離 24 km にアメリカ巡洋艦を認め、その巡洋艦が既に破棄され無人漂流中であった駆逐艦「夕立」を撃沈したのをきっかけに後部主砲を発射し、3-4 斉射で対射した。

日が昇ると、ヘンダーソン基地から発進した F4F ワイルドキャット戦闘機や SBD ドーントレス急降下爆撃機、エスピリトゥサント島から飛来する B-17 大型爆撃機による攻撃が始まった。比叡の右舷高角砲 2 基は無傷、左舷三番高角砲は仰角 48 度で故障していた。機関は無事だったため、左に旋回しながら最高 29kt でアメリカ軍機の攻撃回避に努めた。

位置⑥

IJN Battleship HIEI: Tabular Record of Movement

10:20: HIEI is attacked by nine “Avengers” from USS UNTERPRISE. Abe abandons his towing plan and contacts Combined Fleet HQ, suggesting that HIEI be beached at Kamimbo, Guadalcanal.

ウィキペディア 比叡 (戦艦)

舵復旧作業とアメリカ軍の攻撃

午前 8 時 30 分、阿部司令官は比叡をガタルカナル島へ座礁させるように命じた。その後、空母エンタープライズから第 10 雷撃隊の TBF アベンジャー雷撃機 9 機、F4F ワイルドキャット戦闘機 6 機がヘンダーソン飛行場に移動するため発進する。西からサボ島とエスペランサ岬に近づいた彼らは、日本艦隊 (比叡、護衛駆逐艦部隊) がサボ島北 16 km にいることを発見した。

位置⑦

戦史叢書 83 南東方面海軍作戦 (2) ガ島撤収まで (375 ページ)

第 11 戦隊司令官は駆逐隊を率い 2300 ころ現場に引き返し捜索したが、既に「比叡」の姿はなく、沈没したものと認め、

IJN Battleship HIEI: Tabular Record of Movement

1900-0100: HIEI sinks by the stern some 4.5 miles from Savo Island at about 09-04S, 159-45E, 188 crewmen are lost.

ウィキペディア 比叡 (戦艦)

沈没

午後 5 時、駆逐艦 5 隻 (雪風、照月、時雨、白露、夕暮) は、ガ島飛行場砲撃に向かう外南洋部隊支援隊との同士討ちすることを避けるため、比叡の傍を離れサボ島西方に退避した。放棄時の比叡は右に 15 度傾斜し、艦尾も沈下していた。午後 11 ごろ雪風達が戻ると比叡の姿は既になく、沈没したものと判定された。

2. アメリカ海軍の沈没艦の位置

アメリカ海軍の沈没艦の位置は以下の資料による。

- 1) U.S. Navy at War 1941-1945 Official Reports by Fleet Admiral Ernest J. King, U.S.N. Appendix C Losses of United States Naval Vessels From all Causes, 7 December 1941-

1 October 1945

2) ウィキペディア第二次世界大戦中のアメリカ海軍の喪失艦一覧

3. 日本海軍の沈没艦の位置

日本海軍の沈没艦（貨物船を含む）の位置は以下の資料による。

1) 太平洋戦争沈没艦船遺骸調査大鑑

4. SSS の探査範囲

米国の会社による既存の SSS 探査範囲は以下の資料による。

1) <https://www.oceannews.com/featured-stories/may-feature-story>

5. マルチビームの測線

前回実施したマルチビームの測線は以下の資料による。

1) 特定非営利活動法人アジア太平洋英霊顕彰会

6. 海岸線等の地形データ

海岸線等の地形データは Google Earth 画像を基に作成した。

注：1) 日本軍とアメリカ軍が使用していた標準時間には 2 時間の差があると考えられる。

2) 図面上に表示された戦艦比叡の行動時間は日本側の資料による時間である。